

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和07年01月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	346	プール開放事業								
	この事務事業 の位置	政策	健康で生き生きと暮らせるまち									
		施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう									
		基本事業	スポーツ									
	主管課名	学校教育課			課長名	岡田珠見						
	この事務事業の開始時期	平成17（2005）年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令	みよし市立学校プール開放管理要綱										
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	平成17（2005）年度より、なかよし地区（中部小学校）、きたよし地区（緑丘小学校）、みなよし地区（南部小学校）の各1校ずつで、市民一般を対象に小学校プールを開放し、加えて一般開放以外の小学校において、夏季休業中にPTAが当該小学校児童を対象に行うプール開放事業に対して補助金を交付してきた。平成28（2016）年度から、市内全小学校（8校）で市直営事業としてのプール一般開放を行っている。 「SDGsの取り組み：3,4」				平成16（2004）年度で、三好総合公園内の町営プールが廃止されたため、その受け皿となる施設として、小学校プールを一般開放して、市民の需要に応える。また、学校施設の有効活用を図り、地域開放の一層の促進を目指す。							
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			市内の6小学校において、学校運営に支障のない範囲で、土・日曜日を除く毎日、午前9時から正午、13時から16時まで市内在住の小中学生に開放を実施した。実施にあたっては、専門の業者に管理運営を委託した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	変化していない。			名称		単位						
				① 一般開放する学校プール数		施設						
				② 小学校夏季休業中の開放プール数		施設						
対象（この事業の対象、範囲となる人、物） 市民				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
				名称		単位						
				① 人口		人						
				②								
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか） 夏季休業中に小学校のプールを利用してもらう				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
				名称		単位						
				① 入場者数		人						
				②								
結果（上位基本事業の意図） 日常的にスポーツをし、仲間づくりに取り組んでもらう。				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
				名称		単位						
				① 市民1人の週1回以上のスポーツ実施率		%						
				②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 施設		6	4	4	0	0	0				
	② 施設		6	4	4	0	0	0				
(2)の 対象指標	① 人		61,218	61,375	61,375	61,380	61,380	61,380				
	②											
(3)の 成果指標	① 人		2,445	4,000	4,429	0	0	0				
	②											
(4)の結果の 成果指標	① %		51	57.7	50	61.3	65	65				
	②											
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	01	目	02
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
財 源 内 訳	事業費（決算又は予算額）A	単位	11,267	13,000	9,611	0	0	0	0			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	11,267	13,000	9,611	0	0	0	0			
人件費B		千円	927.2	799	799	0	0	0	0			
正職員従事時間×人数		時間×人	260×1	227×1	227×1	0×1	0×1	0×1	0×1			
正職員以外の人件費		千円	12	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	107	20	0	20	20	20	0			
トータルコストA+B+C		千円	12,301.2	13,819	10,410	20	20	20	0			
単位あたりコスト		千円/人	0.2	0.2	0.2	0	0	0	0			
(トータルコスト/ (2) の対象指標)		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	346	プール開放事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？		☐ 得られている ☒ 得られていない	理 由	利用者が少ないことや、昨今の猛暑の影響による熱中症の危険を回避する必要がある、十分な成果が得られなくなっている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？		☒ ある ☐ ない	その理由	環境変化に伴って実施自体が危ぶまれるため、見直しが必要である。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？		☒ ある ☐ ない	その理由	環境変化に伴って実施自体が危ぶまれるため、見直しが必要である。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？		内 容	利用者が少ないことや、昨今の猛暑の影響による熱中症の危険を回避するため、成果を向上させることはできません。		
		目的達成状況		内 容	R5(2023)年度はコロナ後の実施であったが、利用者はコロナ禍前の50%程度にとどまった。		
		市関与の必要性（実施手法）		内 容	☐ 民間への一部委託 ☒ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 現状でほとんどの業務を専門業者に委託している。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。		内 容	事業内容を鑑みると、統廃合による事業の効率化又は成果の向上は難しい。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）		内 容	現状でほとんどの業務を専門業者に委託している。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？		☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	特になし。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策		意 見	議会から、利用人数に対して事業費が大きく成果が少ない。また、こどもだけでなく市民全体の需要にこたえる事業でないことなどから中止を提案された。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	R5(2023)年度は、4校で開催し、猛暑となる可能性の高い8月は午前中のみ実施をした。		変 更 ・ 追 加	本事業を中止します。	
今後の事業・コスト・成果の方向性				今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☒ 廃止・休止				※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 市民の健康維持促進と体力向上のためには、事業は必要と考えるが、他の方法を含め、実施方法を検討することとし、事業を休止する。			
コストの方向性				→ 維持			
成果の方向性				→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年11月12日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	427	スポーツ推進審議会運営事業													
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち														
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう														
			基本事業	スポーツ														
	主管課名		スポーツ課			課長名	林 幸男											
	この事務事業の開始時期		昭和57(1982)年			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務											
	この事務事業の根拠法令		スポーツ基本法、みよし市スポーツ推進審議会条例															
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由												
	スポーツ推進審議会はスポーツ基本法に基づき設置するもので、スポーツの推進に関し教育委員会からの諮問に応じて、審議、答申を行う。 「SDGsの取組：3, 4」					令和5(2023)年度の成人の週1回以上のスポーツ実施率は48.3%である。運動することでストレス解消や生活習慣病の予防に効果がある。生涯にわたりスポーツを行うことで市民の健康寿命を延伸し、健康に生涯を送ることができるよう取組が求められている。 令和2(2020)年度に、スポーツ基本法に基づき、みよし市スポーツ推進計画（計画期間10年：平成28(2016)年度から令和7(2025)年度）の中間見直しを行った。計画の施策を実施しスポーツ実施率の向上を図る。												
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			スポーツ推進計画に基づく事業の検証。 令和5(2023)年度は審議会会議を1回開催し、スポーツ実施アンケート調査項目の検討、スポーツ推進計画の実施状況の検証を行った。														
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）													
変 化 内 容	スポーツ活動を支える担い手の減少等により公益的な地域スポーツを推進する体制の見直しが求められている。また、今後のスポーツ政策の在り方について検討していく必要がある。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>審議会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>スポーツ実施アンケートの配布人数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	①	審議会開催回数	回	②	スポーツ実施アンケートの配布人数	人
					名称		単位											
					①	審議会開催回数	回											
②	スポーツ実施アンケートの配布人数	人																
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）													
審議会委員					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	①	人口	人	②		
名称		単位																
①	人口	人																
②																		
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）													
答申、建議を受け、スポーツ推進施策に反映する。					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>答申・建議の件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	①	答申・建議の件数	件	②		
名称		単位																
①	答申・建議の件数	件																
②																		
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）													
スポーツ推進のための課題に対して、解決策を見出し、計画に反映する。					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>答申・建議の件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	①	答申・建議の件数	件	②		
名称		単位																
①	答申・建議の件数	件																
②																		
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																		
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値									
(1)の 活動指標		① 回	1	1	1	3	4	3	3									
		② 人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000									
(2)の 対象指標		① 人	61,375	61,656	61,380	61,938	62,219	62,500	62,800									
		②																
(3)の 成果指標		① 件	1	1	1	1	1	1										
		②																
(4)の結果の 成果指標		① 件	1	1	1	1	1	1										
		②																
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	01						
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値									
事業費(決算又は予算額) A		単位	109	250	106	479	856	215	215									
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0									
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0									
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0									
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0									
	一般財源	千円	109	250	106	479	856	215	215									
人件費 B		千円	1,753	1,753	1,929	1,929	1,929	1,929	1,929									
正職員従事時間×人数		時間×人	166×3	166×3	137×4	137×4	137×4	137×4	137×4									
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0									
その他の費用 C		千円	141	141	215	215	215	215	215									
トータルコスト A+B+C		千円	2,003	2,144	2,250	2,623	3,000	2,359	2,359									
単位あたりコスト		① 千円/人	0	0	0	0	0	0	0									
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0									

様式1-2

		事務事業名	No.	427	スポーツ推進審議会運営事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	教育委員会の諮問に応じて調査審議し、その内容を教育委員会へ答申するため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	みよし市スポーツ推進審議会条例において、委員の人数が定められ、適切に運営されているため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	スポーツ基本法に基づき設置、運営している事業であるため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		スポーツ推進計画に基づき施策を実施する。		
		目的達成状況	内 容		スポーツ推進計画に基づき実施する施策の検証を行っている。		
		市関与の必要性 （実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 スポーツ基本法に基づき、みよし市教育委員会の諮問に応じて開催するものであるため。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		スポーツ基本法に基づき設置するものであるため、統廃合にそぐわない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はいできないか？）	内 容		スポーツ実施アンケートを民間委託することにより人件費の削減は期待されるが、事業費との相殺ができるかの検討は必要である。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない		内 容	直接的な受益者はいないため。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見		現みよし市スポーツ推進計画を基にスポーツ推進の効果と課題を検証すること。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度		令和2（2020）年度に中間見直しを行ったため、審議会を4回か1回とする。		変 更 追 加	令和7（2025）年度中に新たな推進計画を策定するため、令和6（2024）年度は、審議会に諮りながら先進地視察を含め3回開催する。
今後の事業・コスト・成果の方向性				今後の事業の方向性、改革・改善案			
☒ 拡大 ☐ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止				※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 令和8（2026）年度から新たな市スポーツ推進計画を施行する必要がある、本市のスポーツ推進の検証や先進地の取り組みを踏まえ、審議会に諮り新たな推進計画を策定する。			
コストの方向性				↑ 増加			
成果の方向性				↑ 増加			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年11月12日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	428	スポーツ推進委員等運営事業							
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
			基本事業	スポーツ								
	主管課名		スポーツ課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期		昭和39(1964)年頃			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		スポーツ基本法、みよし市スポーツ推進委員に関する規則等									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	スポーツ推進委員はスポーツ基本法において、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整を行うものとされている。 また、地区スポーツ委員は各行政区に1人ずつ配置しスポーツ推進委員と連携しながらスポーツ実施率の向上を図る。 「SDGsの取組：3,4」					スポーツ推進委員は、毎月1回の定例会議を開催し、主管するスポーツ祭・マラソン駅伝大会等の運営に係る協議を行う。また、ニュースポーツの普及・啓発により、市民の体力づくり、健康づくりに寄与している。小中学校、行政区、子ども会等の要請に応じ、スポーツイベントに係る指導補助を行っている。 地区スポーツ委員は、行政区を対象としたスポーツ事業の調整・取りまとめを行い、推進委員と連携しながら、地域におけるスポーツ推進に寄与している。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		月例スポーツ推進委員会会議を開催。令和4（2023）年度に従来の体育祭から「だれでも気軽に楽しくスポーツ」をテーマにしたスポーツ祭を実施。令和5（2023）年度も引き続き実施。マラソン駅伝大会等の運営に係る協議等、及び本市のスポーツの推進に向けた協議を行った。また、愛知県、東海四県スポーツ推進委員研究大会等に参加し、西三河地区研修は企画運営を行い実技指導の資質向上を図った。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	市と地域住民との間に立ち連絡調整をしていただくことが課題であり、市との連携体制を強化・構築して、連絡調整業務を遂行しやすい体制づくりが求められている。					名称		単位				
						① 推進委員会会議・研修回数	回					
						② 推進委員会主管イベント回数	回					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民全体					名称		単位					
					① 人口	人						
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
気軽にスポーツに親しむ・関わる					名称		単位					
					① 推進委員会主管イベントの参加者数	人						
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
スポーツイベントの開催などを通して、スポーツに関わる人を増やす					名称		単位					
					① 成人の週1回以上のスポーツ実施率	%						
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 回	22	21	21	21	21	21	21			
		② 回	8	9	8	10	10	10	10			
(2)の 対象指標		① 人	61,375	61,656	61,380	61,938	62,219	62,500	62,800			
		②										
(3)の 成果指標		① 人	16,139	41,124	21,865	5,000	5,000	5,000	5,000			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %	47.8	57.3	48	61.2	65	65	65			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	6,525	8,121	7,047	7,993	7,915	7,781	7,781			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	2	66	20	72	72	72	0			
	一般財源	千円	6,523	8,055	7,027	7,921	7,843	7,709	7,781			
人件費B		千円	6,283.2	6,283.2	7,603.2	7,603.2	7,603.2	7,603.2	7,603.2			
正職員従事時間×人数		時間×人	255×7	255×7	270×8	270×8	270×8	270×8	270×8			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	848	848	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077			
トータルコストA+B+C		千円	13,656.2	15,252.2	15,727.2	16,673.2	16,595.2	16,461.2	16,461.2			
単位あたりコスト		千円/人	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	428	スポーツ推進委員等運営事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	「スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う」というスポーツ推進委員の目的を果たしているため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	スポーツ基本法に基づき設置・運営している事業であるため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	スポーツ基本法に基づき設置・運営している事業であるため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	市民のスポーツに対するニーズを的確に把握し、実情に応じたスポーツ推進事業が実施できるよう、各委員の資質向上を図る。		
		目的達成状況	内 容	コロナ対策を講じ各種イベントを実施したことで、スポーツの推進を行った。西三河地区スポーツ推進委員実技研修会や東海四県スポーツ推進委員研究大会等に参加したことで、スポーツ推進委員の資質向上を図ることができている。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☒ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 スポーツ推進委員会が主管するイベントの一部について、イベントそのものの開催、運営方法を検討する必要がある。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	スポーツ基本法に基づき設置するものであるため、統廃合はそぐわない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容	主管イベントの準備・運営について、支えるスポーツの推進としてボランティアを活用することにより、従事時間の削減が期待できる。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☒ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	カローリング交流会参加費 レクリエーションスポーツフェスタ参加費	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	スポーツ推進委員、地区スポーツ委員相互に連携し、スポーツ推進活動を行う必要がある。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	各種イベント、スポーツ推進委員会の定例会議（毎月1回）の開催及び研修会等を行った。また、西三河地区実技研修会を本市で開催した。		変 更 ・ 追 加	変更なし。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 市民からのスポーツ指導等の要請に応えるため、推進委員の資質向上及び技能習得を図るとともに、効果的なスポーツ推進の在り方を検討する必要がある。市民誰もがスポーツに親しめる機会の提供を検討していくことによりスポーツ実施率の向上を図る。部活動地域移行に伴い総合型地域スポーツクラブとの連携・協力を促進する。スポーツ推進委員の認知度を高めるためHP等による広報活動を積極的に行っていく。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年11月12日

1 事務事業 の 現 状	事務事業名	No.	429	スポーツ協会補助事業													
	この事務事業 の位置	政策	健康で生き生きと暮らせるまち														
		施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう														
		基本事業	スポーツ														
	主管課名	スポーツ課			課長名	林 幸男											
P L A N 及 び D O	この事務事業の開始時期		昭和37(1962)年		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務											
	この事務事業の根拠法令		特になし														
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由												
	スポーツ協会は、みよし市におけるスポーツ団体を総括し、スポーツの普及と振興を図り、市民の健全な心身の発展に寄与することを目的に、加盟団体の活動支援、指導者の養成・確保、顕彰をはじめ、前述の目的を達成するために必要なスポーツ振興事業を実施している。 「SDGsの取組：3,4」				19競技団体とスポーツ少年団12団体の計31団体、約4,646名の会員登録がある。 スポーツ振興は、スポーツ活動を活性化し、実施者にとって心身の健康を増長できるものである。また、青少年の健全育成にも寄与することから、スポーツ協会の活動を支援することは、スポーツ活動の機会を提供し「生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう」を推進することに繋がる。												
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		スポーツ協会は、会長1名、副会長2名、理事16名、評議員27名、監事2名の役員でそれぞれ年2回理事会、評議員会を開催し、事業計画等を協議した。事業は、自主事業と加盟団体の活動を支援する事業に分別し、実施した。														
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）												
変 化 内 容	加盟団体の活動において若年層の参加が減少傾向にあり、今後の指導者、運営者不足が懸念される。				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>補助金</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				名称		単位	①	補助金	千円	②		
					名称		単位										
					①	補助金	千円										
②																	
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）												
市民					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				名称		単位	①	人口	人	②		
					名称		単位										
					①	人口	人										
②																	
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）												
市全体を統括する団体であるスポーツ協会に加盟してスポーツの推進を図る。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>スポーツ協会加盟団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				名称		単位	①	スポーツ協会加盟団体数	団体	②		
					名称		単位										
					①	スポーツ協会加盟団体数	団体										
②																	
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）												
日常的にスポーツをし、仲間づくりに取り組んでもらう。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>成人の週1回以上のスポーツ実施率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>スポーツ施設の年間利用者数</td> <td>人</td> </tr> </table>				名称		単位	①	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	②	スポーツ施設の年間利用者数	人
					名称		単位										
					①	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%										
②	スポーツ施設の年間利用者数	人															
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値								
(1)の 活動指標		① 千円	9,603	10,700	10,244	10,700	10,700	10,700	10,700								
		②															
(2)の 対象指標		① 人	61,375	61,656	61,380	61,938	62,219	62,500	62,800								
		②															
(3)の 成果指標		① 団体	30	31	30	31	32	32	32								
		②															
(4)の結果の 成果指標		① %	47.8	57.3	48	61.2	65	65	65								
		② 人	364,727	370,000	328,908	375,000	380,000	385,000	390,000								
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	01					
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値								
事業費(決算又は予算額) A		単位	9,603	10,811	10,223	11,049	11,049	11,049	11,049								
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	一般財源	千円	9,603	10,811	10,223	11,049	11,049	11,049	11,049								
人件費B		千円	1,689.6	1,689.6	2,633	2,633	2,633	2,633	2,633								
正職員従事時間×人数		時間×人	160×3	160×3	187×4	187×4	187×4	187×4	187×4								
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0								
その他の費用C		千円	182	182	431	431	431	431	431								
トータルコストA+B+C		千円	11,474.6	12,682.6	13,287	14,113	14,113	14,113	14,113								
単位あたりコスト		千円/人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2								
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/	0	0	0	0	0	0	0								

事務事業名		No.	429	スポーツ協会補助事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由	市内の競技団体の統括し、スポーツ推進を図ることができている。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	市内の競技団体を統括しており、対象を見直す必要性はない。
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	市内の競技団体の支援に留まらず、部活動の地域移行等、地域のスポーツ振興に寄与するための指導者育成も必要となる。
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		部活動の地域移行に伴い、各競技団体の理解向上と地域のスポーツ振興に寄与するための指導者を育成するため、競技団体との調整や指導者講習会を実施する。	
		目的達成状況	内 容		本市のスポーツ競技団体を総括する団体として、加盟団体の活動支援と本市のスポーツ推進を図ることができている。	
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 市内の競技団体を統括し、スポーツの推進を図る必要がある。	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		団体への補助事業のため、統廃合はできない。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容		市内の競技団体を統括する団体であり、安定した継続的な運営と加盟団体の活動支援を行うため、必要な協会運営を実施しているため、事業費、人件費の削減は難しい。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	加盟団体から、協会運営に必要な負担金を徴収している。
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	加盟団体数の固定化、指導者の高齢化が進んでおり、今後新規加盟団体となる団体の育成、若手指導者の養成が課題である。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	スポーツ少年団交流大会の開催を止め、スポーツ祭への参加を促した。高齢者のスポーツ大会への参加を支援した。		変 更 追 加	新たにラグビー協会が加盟しラグビー競技の普及・振興を行う。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 指導者の指導技術の向上、部活動の地域移行等に伴う小中学生の受入れ、指導体制を整えるため、指導者講習会の内容を充実させる。 加盟団体の活動促進を図るため、補助金を交付し活動支援を継続するとともに、新たなスポーツ団体の育成、団体活動の支援が必要となる。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月11日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	430	体育施設管理運営事業													
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち														
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう														
			基本事業	スポーツ														
	主管課名		スポーツ課			課長名	林 幸男											
	この事務事業の開始時期		昭和57(1982)年			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務											
	この事務事業の根拠法令		スポーツ基本法															
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由												
	旭グラウンド、きたよしグラウンド、太陽の広場、三好公園総合体育館、三好公園屋外体育施設、三好丘公園・三好丘桜公園テニスコート・多目的広場、黒笹公園多目的広場のほか、三好池及び保田ヶ池カヌー施設の維持管理業務を行う。 「SDGsの取組：3, 4, 11」					各種運動施設を良好な状態で利用者に貸出し、スポーツ推進に資する必要があるため、施設の保守・点検、維持管理業務を行う。												
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		各施設を安全に利用できるよう、旭グラウンド芝生維持管理業務委託、体育館等設備管理業務委託、体育館等清掃業務委託等の委託業務、社会体育施設、都市公園有料運動施設の緊急修繕工事などを実施。また、ゲートボール・グラウンドゴルフ場、きたよしグラウンドの借地契約事務、太陽の広場の指定管理を行い、適正な維持管理を行った。															
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）													
変 化 内 容	各施設の老朽化が進んでいるため、緊急を要する施設修繕が増加している。				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>体育施設管理運営事業費の額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	体育施設管理運営事業費の額	千円	②		
					名称		単位											
					①	体育施設管理運営事業費の額	千円											
②																		
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 体育施設の利用者					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）													
					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>スポーツ課所管の体育施設の総利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	スポーツ課所管の体育施設の総利用者数	人	②		
					名称		単位											
					①	スポーツ課所管の体育施設の総利用者数	人											
②																		
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 施設を安全に貸出、利用できるようにする。					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）													
					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>旭グラウンド施設開放日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>旭グラウンド以外の施設の開放日数</td> <td>日</td> </tr> </table>					名称		単位	①	旭グラウンド施設開放日数	日	②	旭グラウンド以外の施設の開放日数	日
					名称		単位											
					①	旭グラウンド施設開放日数	日											
②	旭グラウンド以外の施設の開放日数	日																
結果(上位基本事業の意図) 日常的にスポーツをし、仲間づくりに取り組んでもらう。					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）													
					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>成人の週1回以上のスポーツ実施率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	②		
					名称		単位											
					①	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%											
②																		
事務事業の各種指標の実績と見込み及び目標																		
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値									
(1)の 活動指標		① 千円	133,326	10,811	124,001	137,718	137,718	137,718	137,718									
		②																
(2)の 対象指標		① 人	270,748	280,000	285,760	295,000	305,000	310,000	315,000									
		②																
(3)の 成果指標		① 日	215	210	226	210	210	210	210									
		② 日	306	306	306	306	306	306	306									
(4)の結果の 成果指標		① %	47.8	57.3	48	61.2	65	65	65									
		②																
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	01						
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値									
事業費(決算又は予算額) A		単位	133,326	140,080	125,135	137,718	135,767	142,382	136,242									
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0									
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0									
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0									
	その他	千円	26,531	19,580	23,451	25,571	25,571	25,571	25,571									
	一般財源	千円	106,795	120,500	101,684	112,147	110,196	116,811	110,671									
人件費B		千円	35,179.9	35,179.9	40,307.6	40,307.6	40,307.6	40,307.6	40,307.6									
正職員従事時間×人数		時間×人	593×8	593×8	573×9	573×9	573×9	573×9	573×9									
正職員以外の人件費		千円	18,481	18,481	22,155	22,155	22,155	22,155	22,155									
その他の費用C		千円	1,131	1,131	1,722	1,722	1,722	1,722	1,722									
トータルコストA+B+C		千円	169,636.9	176,390.9	167,164.6	179,747.6	177,796.6	184,411.6	178,271.6									
単位あたりコスト		① 千円/人	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6									
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0									

事務事業名		No.	430	体育施設管理運営事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？		☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	スポーツ施設を安全な状態で利用できるよう、施設管理を行っている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？		☐ ある ☒ ない	その理由	施設管理者として、適切な管理を継続しているため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？		☒ ある ☐ ない	その理由	屋内、屋外体育施設の老朽化が進んでいるため、施設の改修計画が必要である。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？		内 容	旭グラウンドの天然芝を人工芝へ移行することにより、利用可能日数が増え、さらに天然芝にかかる維持管理費を削減することができる。 指定管理により、スポーツ振興に必要な施設の適切な管理運営を行うことができる。		
		目的達成状況		内 容	施設が安全に利用できるよう維持管理を行っているが、老朽化対策も必要である。		
		市関与の必要性 （実施手法）		内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 指定管理を検討する必要がある。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。		内 容	公の施設の管理方針により民間活用を積極的に推進し、効率化を図る。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）		内 容	施設の在り方について、長期的な視点を持ち総合的かつ計画的な管理方法を検討する。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？		☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	受益者負担の見直しにより使用料を定め、適切に徴収している。（令和6（2024）年度改定）	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策		意 見	施設の老朽化、利用者目線による改修が必要である。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	利用者の熱中症対策として、サンパワに移動式シェルター（日よけ）を整備した。		変 更 追 加	安全かつ良好な状態で利用いただけるよう、トレーニングルームのエアロバイク・アジャスタブルベンチを更新する。	
今後の事業・コスト・成果の方向性				今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止				※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 施設の利用促進と効果的・効率的な整備・運営・維持管理を図るため民間事業者の積極的な活用やデジタル技術を取り入れるなど、効率的な施設の管理方法を検討する。			
コストの方向性 → 維持							
成果の方向性 → 維持							

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年11月12日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	431	みよし市スポーツ大会等開催事業							
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
			基本事業	スポーツ								
	主管課名		スポーツ課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期		昭和43(1968)年			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市スポーツ振興事業補助金交付要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	各大会、行事に子どもから高齢者まで多くの方が参加し、スポーツ交流や健康づくりの場となっている。市民に親しまれ、スポーツを通じた青少年の健全育成並びに高齢者の健康づくりに資するイベントを実施する。 「SDGsの取組：3, 4」					市主催大会の実施、スポーツ団体主催大会の支援により、スポーツを通じた健康づくりや地域交流を通じて、スポーツ実施率の向上を図る。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		チャレンジデー、カローリング交流会、レクリエーションスポーツフェスタ、地域対抗ソフトボール大会、スポーツ祭、マラソン駅伝大会、川淵三郎杯を開催し、市民が気軽にスポーツ活動に参加できる機会の提供、スポーツを活動を通じた行政区交流、スポーツ実施者が成果を発揮する場の提供を行った。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	行政区単位で参加する事業について、参加行政区が減少傾向にある。				名称			単位				
					① 市主催イベント数			回				
					② 補助金交付団体数			団体				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民					名称			単位				
					① 人口			人				
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
スポーツイベントの民間委託を進めていく。					名称			単位				
					① スポーツ大会等参加者数			人				
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
日常的にスポーツを実施し生涯にわたって健康に暮らし、スポーツを通じたコミュニケーションづくりをしてもらう。					名称			単位				
					① 成人の週1回以上のスポーツ実施率			%				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込み及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 回	8	8	8	7	7	7	7			
		② 団体	3	5	5	5	5	5	5			
(2)の 対象指標		① 人	61,375	61,656	61,380	61,938	62,219	62,500	62,800			
		②										
(3)の 成果指標		① 人	34,987	30,000	39,947	20,000	20,000	20,000	20,000			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %	47.8	57.3	48	61.2	65	65	65			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	8,906	10,513	10,079	12,259	11,155	11,155	11,155			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	320	0	0	0			
	一般財源	千円	8,906	10,513	10,079	11,939	11,155	11,155	11,155			
人件費B		千円	10,964.8	10,964.8	15,544.3	15,544.3	15,544.3	15,544.3	15,544.3			
正職員従事時間×人数		時間×人	445×7	445×7	552×8	552×8	552×8	552×8	552×8			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	1,131	1,131	1,722	1,722	1,722	1,722	1,722			
トータルコストA+B+C		千円	21,001.8	22,608.8	27,345.3	29,525.3	28,421.3	28,421.3	28,421.3			
単位あたりコスト ①		千円/人	0.3	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	431	みよし市スポーツ大会等開催事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	市民が生涯にわたっていつでも気軽にスポーツを親しむことができる。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	☒ ある ☐ ない	その理由	市民が参加しやすい対象、実施方法を検討する。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	☒ ある ☐ ない	その理由	市民が参加しやすい対象、実施方法を検討する。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	市民の声を聞きながら、より多くの市民が参加できる事業を開催する。		
		目的達成状況	内 容	スポーツ祭、マラソン駅伝大会の運営を見直し、スポーツ振興を図ることができた。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 市主催事業とスポーツ団体への補助金交付により、適切に事業を実施している。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	各大会、イベントは開催する意義と目的を持って実施されており、統廃合はできない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容	大会、イベントの準備・運営に、支えるスポーツの振興としてボランティアを活用することにより、従事時間の削減が期待できる。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☒ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	大会運営に必要なコストと参加者負担の割合の見直し。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	スポーツ祭、マラソン駅伝大会、ソフトボール大会は行政区単位で参加するが、参加行政区が減少傾向にある。	対応策	行政区の意見を聞きながら、参加しやすい対象者・種目を実施する。
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	スポーツ祭、マラソン大会、ソフトボール大会の実施方法の見直しを行った上で開催した。	変 更 追 加	小学校課外活動の地域移行に伴い、バスケットボール大会を開催する。木曽町スキー場を活用したウィンタースポーツの機会を提供する。	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 市民誰もがスポーツに親しめる機会を提供するため、参加者の意見を聞き、各種スポーツ大会の実施方法を見直す。令和9年度に地域対抗ソフトボール大会が第50回目を迎えるにあたり、令和8年度に第50回大会に向けた準備を行う。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			↑ 増加			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年12月25日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	432	スポーツ教室開催事業							
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
			基本事業	スポーツ								
	主管課名		スポーツ課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期		昭和49(1974)年			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		スポーツ基本法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	幼児の親子体操教室、幼児体育教室、スタンプ教室、 成人スポーツ教室を実施する。 「SDGsの取組：3, 4」					市民の健康保持とスポーツ推進のため、スポーツに親 しめるような教室を開催している。 スポーツ教室を通じて、スポーツの楽しさを体感し、 生涯スポーツのきっかけづくりを行う。						
	R5年度に実施した具体的な 事業の方法、手順、指標に対す る成果等		これまで前期・後期の2期に分けて開催していた各教室（幼児の親子体操教室、幼 児体育教室、スタンプ教室、成人スポーツ教室）を令和5（2023）年度は、三好公園 総合体育館大規模改修工事に伴い前期のみの開催とした。応募者多数の場合は、初 めて参加する人を優先とした抽選を行い、参加者を決定した。講座の最終日に参加 者全員にアンケートを取り、次回の教室運営の検討資料とした。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	総合型地域スポーツクラブが幅広い年代を対象とした教室 を実施しており、市主催教室と対象や内容が重複するもの も有るため、市主催教室の在り方を見直す状況となっている。 一部の市主催教室は、令和6年度から廃止し、総合型 地域スポーツクラブが実施する教室へ市民の参加を促す。					名称		単位				
						① 応募者数	人					
		② 教室開催数	回									
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
2～3歳の親子と4～8歳の人数 成人（18歳以上）の人数					名称		単位					
					① 2～3歳の親子と4～8歳の人数	人						
		② 成人（18歳以上）の人数	人									
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
体を動かすことの楽しさ、スポーツへの関心が持てるようにする 。取り組みやすい種目の実践を通して運動への関心を高め、健康 的な生活を送ることやスポーツを通じて仲間づくりをする。					名称		単位					
					① スポーツ教室に参加した人数	人						
		②										
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
日常的に体を動かす習慣をつけ、生涯にわたって健康に暮らせる ようにする。					名称		単位					
					① 生涯にわたり健康に暮らすことができる	%						
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人	350	250	219	400						
		② 回	8	4	5	6						
(2)の 対象指標		① 人	4,095	4,052	3,841	4,000						
		② 人	50,653	50,977	48,451	51,000						
(3)の 成果指標		① 人	2,584	1,500	1,492	3,500						
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %	29.5	35	30.1	40						
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	3,925	2,457	2,191	2,740	2,740	2,740	2,740			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	1,857	667	1,609	1,009	1,009	1,009	1,009			
一般財源		千円	2,068	1,790	582	1,731	1,731	1,731	1,731			
人件費B		千円	1,721.3	1,721.3	1,457.3	1,457.3	1,457.3	1,457.3	1,457.3			
正職員従事時間×人数		時間×人	163×3	163×3	138×3	138×3	138×3	138×3	138×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	182	182	215	215	215	215	215			
トータルコストA+B+C		千円	5,828.3	4,360.3	3,863.3	4,412.3	4,412.3	4,412.3	4,412.3			
単位あたりコスト ①		千円/人	1.4	1.1	1	1.1	0	0	0			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	432		スポーツ教室開催事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	子どもの体力向上、成人のスポーツ実施率の向上を図る機会を提供している。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	幼児体育教室（5歳児対象）及びスタント教室は、総合型地域スポーツクラブが実施する教室と内容が競合しているため、市主催教室を見直す必要がある。また、20歳から40歳代のスポーツ実施率が低いことから、令和3（2021）年度から成人のスポーツ教室を開催しているが、対象の拡大を検討する必要がある。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	幼少期からのスポーツを行う習慣をつけることにより、生涯にわたって健康に暮らすことを目的とした事業のため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		総合型地域スポーツクラブと連携しながら、市民のニーズやライフステージに応じたスポーツを実施する機会の提供を行う。		
		目的達成状況	内 容		教室開催により、スポーツの習慣化のきっかけづくりとなっている。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 市主催教室と同様の効果が得られる場合は、市が関与する必要性はない。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		市民に総合型地域スポーツクラブへの参加を促し、幅広い年代がより身近な場所でスポーツを実施する機会を確保することにより、市主催教室を廃止する。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容		市主催教室を廃止する。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	受益者負担の見直しにより受講料を定め、適切に徴収している。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見		総合型地域スポーツクラブの活動と対象、内容が重複している。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度		総合体育館の大規模改修等施工工事のため、令和5（2023）年度は前年度日程のみで開催する。		変 更 追 加	総合型地域スポーツクラブが実施する教室で市が実施する教室と同様の効果が得られる教室を廃止する。
今後の事業・コスト・成果の方向性				今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☒ 廃止・休止				※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 総合型地域スポーツクラブは、こどもから高齢者まで幅広い年代を対象とした様々なスポーツ活動を実施しており、市主催教室と同様の効果が得られるため、令和7（2025）年度から市主催教室を全て廃止し、市民に総合型地域スポーツクラブへの参加を促す。			
コストの方向性				→ 維持			
成果の方向性				→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月11日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	434	学校体育施設スポーツ開放事業					
	この事務事業 の位置	政策	健康で生き生きと暮らせるまち						
		施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう						
		基本事業	スポーツ						
	主管課名	スポーツ課			課長名	林 幸男			
	この事務事業の開始時期	昭和53(1978)年から			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務			
	この事務事業の根拠法令	みよし市立学校体育施設スポーツ開放規則							
	事業の概要			現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	小中学校の体育館・武道場を住民の体力の向上・スポーツの推進を図ることを目的に、学校行事に支障のない範囲で地域住民に有料開放する。 平成29(2017)年度から開放曜日を増やし、日曜日も開放することとした。 「SDGsの取組：3,4」			教育活動、部活動等での利用に支障がないよう留意しつつより多くの時間を開放している。 施設の老朽化、人口減少等による安全な施設提供が困難になることが想定される一方、国内におけるスポーツ施設の約6割を占める学校体育施設は市民にとって最も身近なスポーツの場である。 上記の状況により、市民にスポーツをする機会の提供を行う必要がある。 また、スポーツ推進計画にある「市民が週1回スポーツをする機会を提供する」には必要な事業である。					
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			利用希望団体は教育委員会へ登録を行う。学校の活動や行事を優先し、月曜日から日曜日の午後6時30分から午後9時30分までを有料（小学校体育館460円、中学校体育館全面640円、中学校体育館半面320円、中学校武道場300円）にて開放した。					
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）					
変 化 内 容	登録団体が増加している。			名称		単位			
				① 年間活動者数		人			
				② 年間活動日数		日			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）					
市民				名称		単位			
				① 人口		人			
				②					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）					
地域住民の健康づくりの交流の場にする。				名称		単位			
				① 登録団体の数		団体			
				②					
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）					
日常的にスポーツを実施し、コミュニケーションをとりながら健康づくりに取り組んでもらう。				名称		単位			
				① 成人の週1回当たりのスポーツ実施率		%			
				② 学校体育施設の年間利用者数		人			
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標									
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値
(1)の 活動指標	① 人		53,820	63,000	54,033	64,000	65,000	66,000	67,000
	② 日		3,245	3,000	3,219	3,000	3,000	3,000	3,000
(2)の 対象指標	① 人		61,375	61,656	61,380	61,938	62,219	62,500	62,800
	②								
(3)の 成果指標	① 団体		118	136	122	136	136	136	136
	②								
(4)の結果の 成果指標	① %		47.8	57.3	48	61.2	65	65	65
	② 人			154,000	102,348	155,500	157,000	158,500	159,000
予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	06 目 02
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値
財 源 内 訳	事業費(決算又は予算額) A	単位	452	582	422	723	688	688	688
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	452	582	422	688	688	688	688
	一般財源	千円	0	0	0	35	0	0	0
人件費B		千円	725.1	725.1	1,277.8	1,277.8	1,277.8	1,277.8	1,277.8
	正職員従事時間×人数	時間×人	103×2	103×2	121×3	121×3	121×3	121×3	121×3
	正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0
その他の費用C		千円	121	121	215	215	215	215	215
トータルコストA+B+C		千円	1,298.1	1,428.1	1,914.8	2,215.8	2,180.8	2,180.8	2,180.8
単位あたりコスト (トータルコスト/(2)の対象指標)	① 千円/人		0	0	0	0	0	0	0
	② 千円/		0	0	0	0	0	0	0

様式1-2

事務事業名		No.	434	学校体育施設スポーツ開放事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	市民のスポーツ振興、健康づくり、体力づくりを目的に事業を実施しており、利用施設に空きがない状況まで、利用申し込みがある。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	市民の自主的なスポーツ活動を対象としているため。
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	市民にスポーツ活動の実践の機会を提供する事業であるため。
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		小学校のクラブ活動の廃止、中学校の休日部活動の地域移行により、学校体育施設の利用形態が変化するため、学校との連携により利用時間帯の検討・調整等、施設の有効活用を図る。	
		目的達成状況	内 容		利用施設に空きがない状況まで利用申し込みがあり、市民にスポーツ活動の実践の機会を提供できている。	
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 学校行事との調整が必要となるため市が直営で事業を実施している。	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		小学校のクラブ活動の廃止、中学校の休日部活動の地域移行により、学校体育施設の利用形態が変化するため、学校との連携により利用時間帯の検討・調整等、施設の有効活用を図る。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はいずれもできないか？）	内 容		総合型地域スポーツクラブや民間事業者への指定管理の可能性について、学校教育課、各学校と検討する。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	受益者負担の見直しにより使用料を定め、適切に徴収している。
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	活動希望団体が増加しており、希望する施設の確保、曜日の調整が困難である。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	納付書の発行方法を変更し、円滑に事業を実施した。		変 更 追 加	限られた施設を有効活用するため、半面利用での調整を行う。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 施設利用者の利用報告書の提出方法や利用に応じた使用料の納付方法について、施設利用者の利便性を向上することによりスポーツ開放を円滑に進める。 また、限られた施設を有効活用するため、半面利用を促し、多くの団体に活動できる場を提供する。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年11月12日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	435	国体、全国大会出場激励事業							
	この事務事業 の位置	政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
		施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
		基本事業	スポーツ								
	主管課名	スポーツ課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期	平成7(1995)年			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令	みよし市スポーツ大会出場選手激励金交付要綱									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	全国大会、世界大会に出場する選手、チームに激励の意味をこめて激励会を開催し、激励金を支給する。激励金は、みよし市内在住者又はみよし市内の学校に在学し、基準を満たした者に支給する。 「SDGsの取組：3, 4」				国民体育大会等の全国大会や世界大会に出場する市内の選手、団体に激励金を交付し、競技者のモチベーションを高めることで競技力の向上に繋がる。また競技スポーツの推進を図ることで市民に対してスポーツの関心を高めるために必要な事業である。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			出場選手より激励金申請書の提出 激励金の支給要件の確認、支給決定 出場選手より大会実績報告書の提出 大会規模、成績に応じて、懸垂幕の設置や激励会、表敬訪問を実施							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	出場選手に対する激励金を支給する事業のため、変化はなく継続して実施する。			名称		単位					
				① 激励金、賞賜金申請書の提出数		件					
				② 激励会、報告会の開催回数		回					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民				名称		単位					
				① 人口		人					
				②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
市民のスポーツに取り組む意欲の向上、競技力の向上、スポーツへの関心を高める。				名称		単位					
				① 全国大会出場者数		人					
				② 国際大会出場者数		人					
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
激励金を支給することで、競技意欲及び競技レベルの向上を図る。				名称		単位					
				① 全国大会の入賞者数		人					
				② 国際大会の入賞者数		人					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値		
(1)の 活動指標	① 件		67	94	218	225	235	245	255		
	② 回		14	5	13	10	10	10	10		
(2)の 対象指標	① 人		61,375	61,656	61,380	61,938	62,219	62,500	62,800		
	②										
(3)の 成果指標	① 人		53	84	188	190	195	200	205		
	② 人		14	4	30	35	40	45	50		
(4)の結果の 成果指標	① 人		21	28	71	75	80	85	90		
	② 人		6	2	22	25	30	35	40		
予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	03
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A		単位	1,075	3,566	3,548	4,095	4,095	4,095	4,095		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	1,560	1,560	1,690	1,690	1,690	1,690		
	一般財源	千円	1,075	2,006	1,988	2,405	2,405	2,405	2,405		
人件費B		千円	985.6	985.6	1,302.4	1,302.4	1,302.4	1,302.4	1,302.4		
正職員従事時間×人数		時間×人	140×2	140×2	185×2	185×2	185×2	185×2	185×2		
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0		
その他の費用C		千円	121	121	215	215	215	215	215		
トータルコストA+B+C		千円	2,181.6	4,672.6	5,065.4	5,612.4	5,612.4	5,612.4	5,612.4		
単位あたりコスト		千円/人	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/	0	0	0	0	0	0	0		

様式1-2

事務事業名		No.	435	国体、全国大会出場激励事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	みよし市内の競技レベル向上への意欲を促進している。また、市民に広く周知することにより、出場選手を応援する機運を高めている。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	令和4（2022）年度に激励対象大会を見直し、激励金の交付対象者を拡充した。
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	世界大会や全国大会出場選手の激励を目的としているが、市民に広く周知することにより、市民のスポーツに対する関心を高めるきっかけとなるよう、市民への周知方法を拡充する必要がある。
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		市ホームページ、広報、スポーツ協会加盟団体、学校等へ広く事業の趣旨を周知することで、交付対象者の拡大、市民への関心を高める。	
		目的達成状況	内 容		激励対象大会を見直し、激励金の交付対象者を拡充しことにより、多くの競技者を激励する機会を設けている。また、市を挙げて選手を応援する機運を高めている。	
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 世界大会や全国大会出場選手を市をあげて激励することが目的のため。	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		対象が限定的なため、統廃合はできない。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容		単一的な事務なため、さらなる削減はできない。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない		内 容	負担を強いる受益者がいない
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	対象者が制度を知らず、申請していない可能性がある。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	支給額の引き上げ及び、限度額を設けて、複数回申請できるよう要綱を改正した。		変 更 追 加	変更なし
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 スポーツ分野で活躍する選手に対し、激励金の支給により継続支援を行う。 懸垂幕やPR看板等を設置し、本市にゆかりのある選手の活躍を市民に広く周知することにより、市全体で選手を応援する機運を高める。 国内で開催されるアジア競技大会などの機運醸成に合わせ、市内の競技レベル向上と市民誰もがスポーツに親しめる機会の提供を検討していくことにより、スポーツ実施率の向上を図る。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年11月12日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	436	カヌー競技推進事業							
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
			基本事業	スポーツ								
	主管課名		スポーツ課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期		平成6(1994)年			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		スポーツ基本法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	平成6(1994)年のわかしゃち国体を契機として整備したカヌー競技場を有効活用し、カヌー競技を通じた青少年健全育成とカヌースポーツの振興を図る。 「SDGsの取組：3,4」					三好池カヌー競技場、保田ヶ池カヌーポロ競技場をカヌー協会（中学、高校のカヌー部等）の活動の場として、また初心者向けの教室、体験会の場として提供。 カヌー競技備品の購入、修繕。 カヌー競技施設を有効活用し、カヌーの普及振興を図り、カヌーを通じてスポーツ活動を促進し、健康増進を図る必要がある。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		三好池カヌー競技場、保田ヶ池カヌーポロ競技場をカヌー協会（中学、高校のカヌー部等）の活動の場として、また初心者向けの教室、体験会の場（水上deお花見）として提供した。 施設を安全に利用できるよう、修繕等の維持管理を行った。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	三好池カヌー競技場は、平成6(1994)年わかしゃち国体を契機として整備、その後令和3(2021)年度に再整備を実施。再整備後の競技場を有効活用し、更なるカヌー競技の普及振興を図る必要がある。				名称 単位							
					① 三好池カヌーセンター/競技場開場日数 日 ② 保田ヶ池カヌーポロ競技場開場日数 日							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
人口					名称 単位							
					① 人口 人 ②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
カヌー競技に触れる機会を設ける。					名称 単位							
					① 自主開催事業件数 件 ②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
カヌー競技に親しんでもらう。					名称 単位							
					① カヌー競技場の利用者数 人 ② みよし市カヌー協会会員数 人							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 日	306	306	306	306	306	306	306			
		② 日	306	306	306	306	306	306	306			
(2)の 対象指標		① 人	61,375	61,656	61,380	61,938	62,219	62,500	62,800			
		②										
(3)の 成果指標		① 件	19	20	17	20	20	20	20			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 人	18,498	24,600	24,837	25,600	26,600	27,600	28,600			
		② 人	349	500	357	500	500	500	500			
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	03
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	26,057	24,549	22,170	21,343	24,627	26,747	24,923			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	1,582	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	1,586	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	24,471	24,549	22,170	21,343	24,627	25,165	24,923			
人件費B		千円	5,097	5,097	2,281	2,281	2,281	2,281	2,281			
正職員従事時間×人数		時間×人	181×8	181×8	216×3	216×3	216×3	216×3	216×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	707	707	431	431	431	431	431			
トータルコストA+B+C		千円	31,861	30,353	24,882	24,055	27,339	29,459	27,635			
単位あたりコスト		① 千円/人	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	436 カヌー競技推進事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	カヌー競技を通じた青少年の健全育成とカヌースポーツの振興に寄与しているため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない	その理由	カヌー競技者を対象とした事業だけでなく、市民にカヌーへの関心を高めてもらう事業の実施により、カヌーの普及振興を図ることができる。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	カヌー競技を通じた青少年の健全育成とカヌースポーツの振興について成果を得ているため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	カヌーやEポートを市民が体験できる機会を増やし、施設の有効活用と市民へのカヌーの普及振興を図る。 また、みよし市カヌー協会が有する専門性を活かし、自主運営団体としてカヌーの普及振興事業が実施できるよう、支援する。		
		目的達成状況	内 容	カヌー協会主催のカヌー教室や競技会を開催し、カヌーの普及及び競技力向上に努めている。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☒ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 カヌー競技推進はカヌー協会等への補助金交付により実施。施設管理については、市の直営で実施しているが、今後指定管理ができるかの検討は必要。 カヌー競技に特化した事業のため、他のスポーツ事業と統廃合できる事業はない。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容			
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容	施設の老朽化に伴い、修繕費用が増加していることや軽微な補修等があることから削減は難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	カヌーセンター施設使用料について、受益者負担の見直しにより使用料を定め、適切に徴収している。また、カヌーの個人艇の保管について、行政財産目的外使用料を徴収している。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	令和3(2021)年度に施設整備を行った三好池カヌー競技場を有効活用することが必要。 会員数増に向けた取組が必要。	対応策	これまでカヌーに親しむ機会がなかった市民に対し、体験会を開催し、関心を高める。
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	16年ぶりに本市で開催した、令和5年度全国中学生カヌースプリント選手権大会の支援及びカヌー協会法人化を支援した。	変 更 追 加	法人化したカヌー協会が競技の普及・振興ができるよう支援し、競技場等の施設管理については引き続き市が管理する。	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 令和3(2021)年度に施設整備を行った三好池カヌー競技場を有効活用し、カヌースポーツの推進を図る。 法人格を取得した、カヌー協会がカヌー競技力の向上を図り、会員相互が責任を持ち持続可能な運営ができるよう支援する。また、本市の地域性を活かした水辺のスポーツを推進するため、カヌー協会主催によるカヌー体験会を支援する。			
コストの方向性 ↑ 増加			令和8(2026)年に開催される第20回アジア競技大会カヌー・カヤック競技の競技会場として三好池が仮決定され、国際的スポーツ大会を契機として市民のスポーツに関する機運の醸成や地域の活性化を図る。			
成果の方向性 → 維持						

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月11日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	437	総合型地域スポーツクラブ支援事業							
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
			基本事業	スポーツ								
	主管課名		スポーツ課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期		平成16(2004)年			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市地域スポーツクラブ補助金交付要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	地域において、子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人々が参加できる、総合的なスポーツクラブの運営を補助する。 「SDGsの取り組み：3, 4, 17」					平成16(2004)年に三好中学校区を活動拠点とした「なかよしクラブ」、平成19(2007)年に南中学校区を活動拠点とした「三好さんさんスポーツクラブ」、平成28(2016)年度に東海学園大学を活動拠点とした「三好ともいきスポーツクラブ」が設立され、地域における生涯スポーツ推進の一役を担って活動している。 総合型地域スポーツクラブは、国のスポーツ基本計画に基づき設立されたものであり、本市では、住民の健康増進、スポーツ推進、交流の場となっている。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					市内3クラブに事業費補助を行い、クラブの活動を支援した。 担当職員が、クラブの運営委員会等へ出席し、クラブ運営への助言を行った。 市広報や市ホームページを媒体としたクラブの啓発活動を行った。						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	各クラブが自主運営団体として事業展開できるよう、活動場所の確保や市主催事業を委託するなど、支援・連携が必要である。					名称		単位				
						① 運営委員会開催数		回				
						②						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民					名称		単位					
					① 人口		人					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
クラブスポーツ活動に参加をしてもらう。					名称		単位					
					① クラブの会員数		人					
					② クラブ総活動者数		人					
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
日常的にスポーツをし、仲間づくりに取り組んでもらう。					名称		単位					
					① 成人の週1回以上のスポーツ実施率		%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 回	26	27	27	27	27	27	27			
		②										
(2)の 対象指標		① 人	61,375	61,656	61,380	61,938	62,219	62,500	62,800			
		②										
(3)の 成果指標		① 人	1,634	2,000	1,818	2,000	2,000	2,000	2,000			
		② 人	35,959	55,000	39,672	45,000	45,000	45,000	45,000			
(4)の結果の 成果指標		① %	47.8	57.3	48	61.2	65	65	65			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	03
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	4,771	6,000	6,166	6,000	6,380	6,000	6,000			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	4,771	6,000	6,166	6,000	6,380	6,000	6,000			
人件費B		千円	1,108.8	1,108.8	1,552.3	1,552.3	1,552.3	1,552.3	1,552.3			
正職員従事時間×人数		時間×人	45×7	45×7	63×7	63×7	63×7	63×7	63×7			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	424	424	431	431	431	431	431			
トータルコストA+B+C		千円	6,303.8	7,532.8	8,149.3	7,983.3	8,363.3	7,983.3	7,983.3			
単位あたりコスト		① 千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	437 総合型地域スポーツクラブ支援事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由	各クラブを支援することにより、地域におけるスポーツ振興、地域交流に寄与している。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	地域住民により運営されている地域に根差したスポーツ振興団体であり、対象を見直すことは難しい。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	国がクラブの設立、支援を進めている事業であるため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		小学校クラブ活動、中学校部活動の地域移行に対応した講座の実施により、地域におけるスポーツ振興をさらに促進することができる。	
		目的達成状況	内 容		教室の内容を見直しながら、地域の実情に応じた運営を行うことにより、会員、参加者が増加している。	
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 国のスポーツ基本計画により各市町村で設立が示され、市内に3団体が活動しており、継続的な運営ができるようが安定的に確保できるまで補助が必要。 地域スポーツクラブへの助成のため、他の事業との統廃合は難しい。	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		地域スポーツクラブへの助成のため、他の事業との統廃合は難しい。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容		各クラブが完全に自主運営を行えるよう、指導していく。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	クラブへの補助金交付であり、直接的な受益者はいない。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	継続的な運営ができるよう、活動場所の確保や事業収入の安定化が課題となっている。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	各クラブが地域の実情に応じた活動を実施した。		変 更 追 加	部活動の地域移行に向け、関係団体と調整を行う。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 各地域の特性に応じた講座を実施し、参加人数の増加を図る。 市補助金以外の収入源を確保するため、各機関からの助成金等の紹介を行い、自主活動を支援する。 各クラブの意向を確認しながら、法人格の取得を検討していく。 部活動の地域移行に向け、関係団体と調整を行い、小中学生の受入れ体制を整える。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			